

第2号対象事業者用  
実績報告書に係る注意事項および記入例

【見方】

赤字・・・記入例



・・・一般的な記入注意事項



・・・記入例に係る事項

●第2号対象事業者の実績報告書提出物

1. 実績報告書

①鑑…p6

②別紙1…p7

③別紙2…p8

④理由書（該当があれば）…p10

2. 年間販売計画と実績の乖離確認表…p9

3. 様式第13号用途別取引数量等通知書…p3

4. 乳代清算書…p4～5

(※ページ数は記入例の該当箇所)

(様式第13号)

令和6年4月 用途別取引数量等通知書

令和6年5月27日

生乳販売団体

★★知 事

令和6年4月中に（生乳販売団体）が取り扱った生乳のうちの用途別取引数量等の搬入先乳業工場別の取引数量等について、次表のとおり通知します。

1 用途別取引数量

(単位：kg)

搬入先乳業工場名	加工原料乳														飲用牛乳等向け				発酵乳等向け	合計		
	脱脂粉乳・バター等向け生乳			チーズ向け生乳			液状乳製品向け生乳								牛乳	学校給食用牛乳	加工乳	小計			小計	
	クリーム向け生乳		濃縮乳向け生乳		脱脂濃縮乳向け生乳		小計		うち入札取引													
	うち一般取引	うち入札取引	うち一般取引	うち入札取引	うち一般取引	うち入札取引	うち一般取引	うち入札取引														
△△乳業	2,500	2,500		500	500												150,000			150,000	30,000	183,000
□□乳業																	100,000			100,000	50,000	150,000

2 用途別取引価格

(単位：円/kg)

搬入先乳業工場	加工原料乳														飲用牛乳等向け				発酵乳等向け	平均		
	脱脂粉乳・バター等向け生乳			チーズ向け生乳			液状乳製品向け生乳								牛乳	学校給食用牛乳	加工乳	平均				
	クリーム向け生乳		濃縮乳向け生乳		脱脂濃縮乳向け生乳		平均		うち入札取引													
	うち一般取引	うち入札取引	うち一般取引	うち入札取引	うち一般取引	うち入札取引	うち一般取引	うち入札取引														
△△乳業	86.0	86.0		84.0	84.0												141.0			141.0	110.0	138.26
□□乳業																	141.0			141.0	110.0	130.67

注：発酵乳等向けについて、更に区分けして取引している場合は、区分けして記入すること。

# 乳代清算書

請求日：令和6年5月5日

令和6年4月分

△△乳業 御中

生乳販売団体

お支払い期限：令和6年5月31日（金）

乳量：183,000kg

金額：27,325,890円

用途	乳量(kg)	単価(円/kg)	金額(円)
脱バ向け	2,500.0	86.0	215,000
チーズ向け	500.0	84.0	42,000
飲用牛乳等向け	150,000.0	141.0	21,150,000
発酵乳等向け	30,000.0	110.0	3,300,000

  

	数量(%)	単価(円/0.1%)	金額(円)
脂肪分加算金	4.0	0.150	137,250
無脂乳固形分加算金	9.0	0.250	457,500
		小計	25,301,750円
		消費税8%	2,024,140円
		合計	27,325,890円

# 乳代清算書

請求日：令和6年5月5日

令和6年4月分

□□乳業 御中

生乳販売団体

お支払い期限：令和6年5月31日（金）

乳量：150,000kg

金額：21,168,000円

用途	乳量(kg)	単価(円/kg)	金額(円)
飲用牛乳等向け	100,000.0	141.0	14,100,000
発酵乳等向け	50,000.0	110.0	5,500,000

  

	数量(%)	単価(円/0.1%)	金額(円)
脂肪分加算金	4.5	0.150	225,000
無脂乳固形分加算金	8.5	0.250	187,500
		小計	19,600,000円
		消費税8%	1,568,000円
		合計	21,168,000円

別記様式第4号

農林水産大臣 殿

会社で番号をとっている方はご記入ください。ない場合は不要です。

番 号  
令和6年8月1日

提出日をご記入ください。

年度と四半期を正しく記載してください。

東京都〇〇区〇〇1-1-1  
〇〇牧場  
代表 生乳 太郎

令和6年度（第1四半期）における対象事業の実績報告書

このことについて、畜産経営の安定に関する法律及び独立行政法人農畜産業振興機構法の一部を改正する法律等の制定について（平成29年10月27日付け生畜第751号生産局長通知）1（4）に基づき、別記様式第4号（及び別記様式第5号）のとおり報告します。

~~注1 実績報告に用いる数量及び価格については、都道府県知事からの用途別取引数量等通知書を提出すること。~~

~~注2 特定乳製品向け生乳及び特定乳製品の販売数量については、年間販売計画と実績との乖離がある場合に、求められたときは別記理由書もあわせて提出すること。~~

書類提出時は、上記注意書きと括弧を削除してください。

四半期を正しく記載  
してください。

△△乳業と□□乳業に  
販売した分の平均受取  
価格を算出する。

別記様式第4号 別紙1

平均受取価格表（乳業者・全国連委託への生乳年間販売実績から算出）（第1四半期まで）

（単位：円/kg）

	年間	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
乳業者からの平均受取価格		134.84	135.06	133.67									

※ 平均受取価格については、消費税抜きの価格を記入すること。

成分加算金を含めた全乳業者からの受取価格を加重平均で算出してください。

- 加重平均の算出方法：**
- ①各乳業へ販売したそれぞれの品目の単価×数量で金額を算出し、成分加算金を合計する。
  - ②①で算出した乳業ごとの金額を足し合わせる。
  - ③②で算出した合計金額（全乳業への税抜販売金額）を全乳業への販売数量で割る。

例) 4月分

②…△△乳業+□□乳業=25,301,750+19,600,000=44,901,750

③…44,901,750÷333,000=134.84

乳代清算書

請求日：令和6年5月5日

令和6年4月分

△△乳業 御中

生乳販売団体

お支払い期限：令和6年5月31日（金）

乳量：183,000kg  
金額：27,325,890円

用途	乳量(kg)	単価(円/kg)	金額(円)
脱パ向け	2,500.0	86.0	215,000
チーズ向け	500.0	84.0	42,000
飲用牛乳等向け	150,000.0	141.0	21,150,000
発酵乳等向け	30,000.0	110.0	3,300,000
	数量(%)	単価(円/0.1%)	金額(円)

脂肪分加算金	4.0	0.150	137,250
無脂乳固形分加算金	9.0	0.250	457,500
		小計	25,301,750円 …①
		消費税8%	2,024,140円
		合計	27,325,890円

乳代清算書

請求日：令和6年5月5日

令和6年4月分

□□乳業 御中

生乳販売団体

お支払い期限：令和6年5月31日（金）

乳量：150,000kg  
金額：21,168,000円

用途	乳量(kg)	単価(円/kg)	金額(円)
飲用牛乳等向け	100,000.0	141.0	14,100,000
発酵乳等向け	50,000.0	110.0	5,500,000
	数量(%)	単価(円/0.1%)	金額(円)

脂肪分加算金	4.5	0.150	225,000
無脂乳固形分加算金	8.5	0.250	187,500

小計	19,600,000円 …①
消費税8%	1,568,000円
合計	21,168,000円

年間販売計画に係る対象事業の実績（第1四半期まで）

四半期を正しく記載してください。

事業に係る事項

(1) 生乳の販売先 (単位：kg)

乳業者・事業者名	所在地	本年度販売数量
△△乳業	千葉県◎◎市○○1-1-1	183,000
□□乳業	埼玉県★★市△△1-1-1	150,000
減耗等		500
計		333,500

様式第13号用途別取引数量等通知書の合計数量と一致させてください。

本年度販売数量なので、様式第13号の4月～6月を合計した数量が入る。

※ 必要に応じて欄を追加すること。

(2) 生乳の販売委託先 (単位：kg)

事業者名	所在地	本年度販売委託数量
計		0

※ 必要に応じて欄を追加すること。

(3) 乳製品の製造先（自ら加工）／乳製品製造委託先 (単位：kg又はℓ)

乳業者名	所在地	加工又は製造委託品目	本年度実績	
			処理生乳量	製造量
計				0

- ※ 必要に応じて欄を追加すること。
- ※ 加工先又は委託先別・製造品目別に整理すること。
- ※ 処理生乳量の単位はkgを、製造量の単位はkg又はℓとし、ℓの場合は数量を（）で括ること。

(4) 生乳生産量

	本年度実績数量
乳用牛飼養頭数（平均）	150
うち搾乳牛頭数	105
1頭当たり乳量（kg/日）	35
生乳生産量（kg）	333,500

例)

★★知 事  
数量等について、次表のとおり通知し

(単位：kg)

飲用牛乳等向け			他種乳等向け		合計
牛乳	学校給食用牛乳	加工乳	小計	小計	
150,000			150,000	80,000	183,000
100,000			100,000	50,000	150,000

ここを足した年度合計が(1)生乳の販売先と一致する。

第2号対象事業者として直接乳業者に販売した生乳以外に、販売先等がある場合はそちらもあわせて、生産した生乳全量の取扱がわかるように(1)、(2)、(3)にご記入ください。

(1)、(2)、(3)の数量の合計になるように記載してください。減耗分等がある場合は、(1)の「乳業者・事業者名」に「減耗等」と記載し、(1) + (2) + (3) = (4)となるようにしてください。

年間販売計画と実績の乖離確認表

(単位：kg、%)

	項目	年間	第1四半期			第1四半期	第2四半期			第2四半期	第3四半期			第3四半期	第4四半期			第4四半期	
			4月	5月	6月		7月	8月	9月		10月	11月	12月		1月	2月	3月		
生乳の 販売及び 処理	特定乳製品向け (加工原料乳)	実績数量	11,000	3,000	4,000	4,000	11,000				0				0				0
		計画数量	31,500	2,000	3,500	3,000	8,500	2,000	1,000	2,000	5,000	2,200	2,300	3,000	7,500	3,000	3,500	4,000	10,500
		計画比	35%	150%	114%	133%	129%	#DIV/0!											

計画数量は年間販売計画の別紙1「特定乳製品向け」の数量をご記入ください。  
 実績数量は各月の特定乳製品向けの生乳全量を記載してください。  
 (実績数量は様式第13号用途別取引数量等通知書の合計数量と合わせてください。)

四半期毎の実績が年間販売計画より20%以上上回っているため、理由書の提出が必要。

## 理由書

計画数量と実績数量の乖離確認表で、当該四半期の計画比が±20%以上あった場合には理由書を記載してください。

(令和6年度(第1四半期)の加工原料乳仕向け量が年間販売計画から上下20%以上乖離した理由については、以下のとおり。)

.....、〇〇の影響により、△△の需要が増加したため。

「～の需要が増えたため。」では不十分です。なぜ、そのような需要が増えたのか等も含めて理由を記載してください。

※ 証拠書類として必要となる書類を添付すること。